

郷土紹介

時代とともに

変わるまち瀬田地区

瀬田地区
瀬田地区
瀬田地区

前回に引き続き変化する
まち瀬田をご紹介します。

元々、多摩川を望む高台
の景勝地は絶好の別荘地で
あった。一丁目のアメリカ
ンスクールには浅沢栄一の
別荘があり、岡本の境まで
にはノリタケの森村家、水
戸徳川家（瀬田温泉）、清
水組（玉川病院）、久原秀
之介（ガーデンハウス）、
小坂順造（四丁目本場）、
船川義介（テラスハウス）、
松方正義（ドミニコ学園）、
高橋屋清（岡本町玉川幼稚園）
など、多数の有名な人が
建てた別荘を建てていた。
又、隣接する上野毛の五
島美術館は田健次郎邸、岡

おはよう
コミニケーションデー

用賀四丁目 工藤祝生

新緑の中、今年度一回目
の用賀中、用賀小、京西小
三校合同の「あいさつ運動」
は五月七日、八日の両日
朝実施いたしました。前回
より各新聞販売店のご協力
を得て、折り込みチラシ約
一万枚を前日に配布でき、
多くの地域の皆さんにも関
心を持って頂けるようにな
りました。

挨拶を通して地域の人々
がより親しくなり、笑顔の
輪を広げていくことが、わ
がまち全体の安全安心につ
ながっていくものと確信し
ています。

今年度、あと二回実施を
予定していますので、是非
ご参加下さい。

（京西小学校教員会委員長）

本の特長文庫の森（三葉
の岩崎家の桐葉堂）などは
昔ながらの緑陰を添えてい
る。

瀬田村は旧家も多く、長
崎家の本家は、十町歩もあ
る大地主の名家だが、モダ
ンゴルフを中心に、附近の
邸宅は元々屋敷内だったよ
うだ。

瀬田小学校、中学校の前
身は大きな谷で、校庭の造
成は地元の人々が埋め立て
て出来た。

大空閣寺の北側の住宅地
は、終戦まで長島牧場があ
り、当時は自家製の牛乳か
らコンデンスミルクを作っ
ていた。

第一遊園地のあった玉川
閑静地は、現在、身延山閑
東別院玉川寺と変わってい
る。

地元出身の
宇宙飛行士

玉川町 池田良夫

国際宇宙ステーションに
日本の有人実験棟「きぼう」
を取り付けて、六月十五
日無事に帰還した宇宙飛行
士の星出彰彦さんは、地元
二子玉川小のOBです。

四年生の時の作文に、「
ぼくは大人になったら宇宙
飛行士になってみたいと思
います」と書いた夢が現実
となりました。

母校の先輩たちも、開校
記念に全校生徒で撮影した
写真で作った下敷に、夢と
希望を乗せ、安全を祈り、
共に宇宙に行きました。

「早くもう一度宇宙に行
ってみたい」と、意欲満々
の土産話をぜひ聞いてみた
いものです。

瀬戸内虫明湾

岡山 森 茂光

岡山の東南沿岸に故郷の
虫明がある。日本のエーゲ
海と呼ばれオリビア産地の
牛窓港は近隣である。

著名人は写真家の緑川洋
一、一人だけだが隣村
には画家の竹久夢二や
作家の柴田錬三郎、正
宗白鳥がいる。

陶器は瀬戸窯家老伊
水氏の茶器として清水
の流れの虫明焼や、隣
村には備前焼があり、人間
国宝を多く輩出している。
また刀剣では備前長船が
あり、その周辺は福岡市の
ルーツ福岡城跡もある。

波静かで風光明媚な瀬戸
内虫明湾の東、海上を望め
ば、右に長島愛生園、その
前方左右に日生諸島が連な

わが故郷

っており、その島々の間か
ら朝日が昇る。
その景観を平忠盛が
むしあけの
追門と唱めるおりぞ
都のこと
忘れにけり
と詠んでいる。

瀬戸内の魚は小魚が
主で、メバルや穴子、
ママカリ、鰯などで、
特に牡蠣の漁獲量は県
下一である。

果樹も葡萄や蜜柑が
豊富に栽培されている。
仕事は受注先と弊社の出
張所が日生にある関係で、
平均隔月に岡山に行き、都
度先祖や息子達の墓参りも
しております。

発展性に乏しい村ではあ
るが、私には想い出多く心
に残る故郷であります。

スポーツ

夏の催しもの

盆踊り



○用賀くすのき公園 ミニ

7月23日(水) 24日(木)

○二子玉川西地区ふれあい

本場(玉川3丁目高菜下)

7月25日(金) 26日(土)

○瀬田小学校

7月25日(金) 26日(土)

○用賀小学校

8月22日(金) 23日(土)

ふるさと区民まつり

8月2日(土) 3日(日)

馬事公苑

「たまたがわ花火大会」

8月16日(土) 17時

二子玉川緑地運動場

「納涼の夕べ」

8月19日(火) 4時

用賀いらか道

Yoga Summer Festival

8月24日(日)

用賀駅前周辺



「世田谷みどり33」
世田谷区は、現在28%の緑
地面積を、33%に増やそう
という目標数値だそうです。
この「緑地」の定義は、
川、池などの水面も入れて
の事だそうです。

近年、身の周りでは落葉
が困る等の理由で、大樹が
伐られた話も聞きますが、
岩手宮城内陸地震の様に、
不可抗力で失われる緑のこ
とを考えると、私達は小さ
な緑をも大事に守っていかな
ければならないと思いま
す。その事が、ひいては、
豊かな環境と安心安全のま
ちづくりにも繋がっていく
のではないのでしょうか。



(折原)